



難民の子どもたちに夢と希望を育む図書館を！

## ミャンマー(ビルマ)難民 図書館活動



写真(上):読み聞かせをするSVA現地スタッフ  
写真(左):完成まじかの図書館(メルマラン難民キャンプ)。  
(共に撮影:渡辺有理子)

1984年以降、ミャンマーの軍事政権による人権弾圧、軍による強制労働・移住及び焼き討ちにより、カレン民族の人々はタイ国境の難民キャンプに逃れてきました。そして、20年以上経過した今、難民キャンプで生まれ育った子どもたちは、祖国を知りません。

SVAは、難民キャンプの高齢者から民話を聞き取り、それを元にカレン語で絵本を製作・出版し、キャンプ内で運営する図書館で読み聞かせをして、子どもたちに母語で絵本に接する機会をつくらせようと日夜努力しています。

絵本は、キャンプの外にすることを禁じられている難民の子どもたちに、夢と希望をあたえ、学ぶチカラを育みます。

タイ国境で厳しい生活をするカレン族の難民の人々の文化を尊重し、子どもたちに「新しい感動の機会」と「未来への希望」を提供する図書館活動に、皆様のご支援・ご協力をお待ちしています。

社団法人シャンティ国際ボランティア会(SVA)

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館

電話 03 (5360) 1233 FAX 03 (5360) 1220  
<http://www.sva.or.jp> Email: [info@sva.or.jp](mailto:info@sva.or.jp)

## ミャンマー(ビルマ)難民 図書館活動とは？



### 【事業の概要】

タイ・ビルマ国境沿いに南北2000kmにわたり点在する7箇所の難民キャンプで22館の図書館を建設・運営しています。図書館は、子どもと大人も使えるように、子どもの部屋、大人の部屋、図書館員室を設けています。カレン語、ビルマ語の本、400冊前後を配架し、図書館員は難民の中から選び2～3名採用します。開館前に図書館員養成研修を実施し、開館後も定期的に現職研修を行います。図書館では、図書の閲覧、読み聞かせのほか、絵画・工作・折り紙などの文化学習活動も行っています。また、伝統舞踊や楽器を教えたり、高齢者活動を通して3世代の交流の場にもなっています。



絵本に熱中する子どもたち(撮影:渡辺有理子さん)

### 【図書館大好き！】

「私は図書館で本を読んだり、おはなしを聞いたりするのが大好きで、毎日通っています。いつも家族や友達に図書館で知ったおはなしを聞かせてあげています。大好きな日本の絵本は「おほしさまかいて！(エリック・カール作)」です。」



メラキャンプ ガメバちゃん 11歳

### 【ご支援額】

一口5万円 図書購入費、図書館員人件費、図書館活動につかう文具費、キャンプからキャンプへの移動車両費などを含みます。

### 【所得税及び法人税の優遇措置について】

当会へのご寄付については、所得税及び法人税の優遇措置がありますので、詳しくはお問い合わせください。

### 【お振込先】

1)郵便振替 \*郵便振替手数料が免除

郵便振替口座:00150-9-61724

口座名:社団法人シャンティ国際ボランティア会

\*郵便振替用紙に「ミャンマー(ビルマ)難民図書館活動募金」とご記入下さい。

2)銀行送金 \*送金手数料はご負担ください。

銀行振込口座:三菱東京UFJ銀行 巣鴨支店(普通)3580105

口座名:「社団法人シャンティ国際ボランティア会」

### 【ご入金をいただく】

支援金のご入金



難民キャンプでの図書館活動



ご支援者へ、報告書のお届け

**\*詳しくは、弊会東京事務所ミャンマー(ビルマ)難民事業担当までご連絡ください。**

社団法人シャンティ国際ボランティア会(SVA)